

Rohan de Saram Momo Kodama

Cello & Piano Duo Recital 2012
Schumann/Hosokawa/Carter/Faure/Xenakis/R. Strauss

©Jane Baker

©Vincent Garnier



ロハン・デ・サラム & 児玉桃 デュオリサイタル 2012

Fri, 19 Oct 2012 start 19:00, Tsuda Hall

ロベルト・シューマン：5つの民謡風の小品集
Robert Schumann: Funf Stucke in Volkston op 102

細川俊夫：チェロとピアノのためのリート
Toshio Hosokawa: Lied for cello & piano

エリオット・カーター：フィグメント
Elliott Carter: Fagment for cello

ガブリエル・フォーレ：エレジー
Gabriel Faure: Elegy for cello and piano

イアニス・クセナキス：コトス
Iannis Xenakis: Kottos

リヒャルト・シュトラウス：チェロソナタ へ長調
Richard Strauss: Sonata for cello & piano op. 6

ロハン・デ・サラムは現代音楽のスーパーカルテットであるアルディッティ弦楽四重奏団のチェリストとして、ほぼ三十年間に渡って、世界の作曲界を牽引する活動を続けて来た。この先鋭的なカルテットの黒柱として、アーヴィン・アルディッティの華やかなヴァイオリンを背景から支える深いチェリストのイメージが、一般には流通している。しかし彼は既に十代の初めから、カサド、カザルスという巨匠に学び、少年時代にカーネギーホールでニューヨークフィルハーモニックと共演したこともある天才チェリストであったのだ。

カルテットを離れた後、独奏者として、ようやく彼は自分自身の音楽の故郷であるクラシックな音楽世界にも復帰して来た。その演奏は、カザルスやカサドに学んだという経歴を想起させる、実に誠実に豊かな深みのあるものだ。

そのロハンが、パリ在住の国際的ピアニスト、児玉桃と共演する。いぶし銀のような深いチェロの響きを、児玉桃の洗練された若々しい珠玉のようなピアノが支えて、古典音楽が、この二十一世紀の私たちの時代に、新しい音楽としてよみがえってくる。

細川俊夫(作曲家)

2012年
10月19日[金]19時開演(18時30分開場)

津田ホール

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目18-24

チケット料金 | 全指定席 一般4,000円/学生2,000円

主催 | 株式会社オカムラ&カンパニー/津田ホール

協力 | KAJIMOTO

お問い合わせ | 株式会社オカムラ&カンパニー (03-6804-7490)



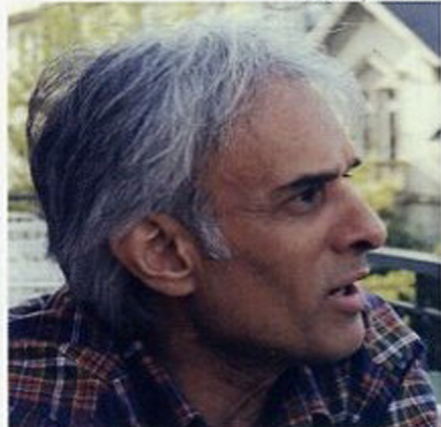
Tsuda Hall

魂の深淵を語るチェリスト、ロハン・デ・サラムと、時代を生き生きと呼吸するピアニスト児玉桃ならではのプログラム。

ロマン派のシューマンとシュトラウス、そして今、世界最高齢の現役作曲家エリオット・カーター(1908年生まれ)、細川作品へと未来へ紡ぐコンサートです。

ロハン・デ・サラム&児玉桃 デュオリサイタル

©Rosemary de Saram



ロハン・デ・サラム | チェロ
Rohan de Saram, Cello

現代音楽の世界的奏者として長年知られてきているが、10代でクラシック界の寵児として広く知られていた。1939年生まれのロハン・デ・サラムは11歳の時にガスパール・カサドに師事、イタリアのシエナとフィレンツェにて学ぶ。

17歳のときにスズア賞を得て、イギリスでジョン・バルビローリ、プエルトリコでパブロ・カザルスに学んだ。彼を「天才、生まれながらの音楽家、驚異のチェリスト」と評したディミトリ・ミトロプーロスの招きで1960年、カーネギーホールデビューを果たす。スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ指揮ニューヨーク・フィルハーモニーとの共演で、ハチャトゥリアンのチェロ協奏曲を演奏した。ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、旧ソ連などの主要オーケストラと共演し、エイドリアン・ポルト、ズービン・メータ、小澤征爾、ウィリアム・スタインバーグなど多くの著名指揮者と共演している。1970年代後半には、クセナキス、ブスール、ペリオなど多くの現代作曲家と共に活動。多くの作品が彼のために書かれた。ペリオの最後の《セクエンツァ XIV》は彼との共同作業によって生まれたものである。2005年11月、30年間所属したアルディッティ弦楽四重奏団を離れ、自身の活動に専念。教育活動も積極的に行っており、ダルムシュタット国際夏季現代音楽講習会などヨーロッパ各地の音楽祭でソロ、アンサンブルの指導、演奏を行っている。ヨーロッパ各国で演奏活動を展開中。CDも多数リリースされている。

2004年スリランカのペラデニヤ大学から名誉博士号を授与され、2005年にはスリランカ大統領からスリランカの国民名誉賞デシャマニヤを受賞した。

©Vincent Garnier



児玉桃 | ピアノ
Momo Kodama, Piano

バッハからメシアンを含む現代作品まで、幅広いレパートリーと豊かな表現力で活躍を続ける国際派。幼少の頃よりヨーロッパで育ち、パリ国立音楽院に学ぶ。1991年、ミュンヘン国際コンクールに最年少で最高位に輝く。

その後、ケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル、小澤征爾指揮ボストン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響など、世界のトップオーケストラと共演を重ねる。2004年ノリントン指揮シュトゥットガルト放響とのドイツ及び日本ツアーを果たし、2005年は、リスボン、ラ・フォル・ジュルネ(ナント及び東京)、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、南仏のラ・ロック・ダンテロン各音楽祭に参加。2006年4月には北ドイツ放送交響楽団の定期演奏会に出演し、細川俊夫の新作世界初演とモーツァルトの協奏曲を一夜に演奏するといった企画と演奏を行い、また、同年12月には、小澤征爾指揮/水戸室内管弦楽団定期演奏会でも同企画が取り上げられ、いずれも高く評価された。

2008年は、水戸室内管のヨーロッパ・ツアーのソリストを務めたほか、メシアン生誕100年を記念した5回にわたるシリーズ公演を行い、2009年中島健蔵音楽賞および、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

CDはオクタビア・レコードよりドビュッシー、ショパン作品集と「メシアン：幼子イエスに注ぐ20のまなざし」に次いで、2010年1月にはメシアン「鳥のカatalog」全集をリリースし、「レコード芸術」誌上で特選盤に選ばれるなど、高評を得ている。パリ在住。

チケット取り扱い (6月1日発売)

チケット料金 | 全指定席 一般4,000円/学生2,000円

津田ホールチケットセンター Tel: 03-5355-1299

ローソン <http://l-tike.com/>

カジモト・イープラス <http://kajimotoeplus.com/>

Peatix <http://rohan-momo.peatix.com/>

オカムラ & カンパニー <http://www.okamura-co.com/>

Tel: 03-6804-7490 / Fax: 03-6804-7489

会場アクセス

津田ホール

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目18-24

Tel: 03-3402-1851

<http://tsudahall.com/>

電車

○JR線 千駄ヶ谷駅下車 (中央線・各駅停車)・改札を出て正面向かい側

○地下鉄 都営大江戸線 国立競技場駅下車・A4出口正面向かい側

バス

都営バス 千駄ヶ谷駅前停留所下車

○黒77 目黒駅～西麻布～北青山三～千駄ヶ谷駅

○早81 早大正門～四谷三～千駄ヶ谷駅～渋谷駅東口

渋谷区コミュニティバス ハチ公バス 千駄ヶ谷駅 (東京体育館) 下車

○神宮前・千駄ヶ谷ルート